

幼児教育学科

科目名: 教育と社会		担当教員 氏名: 霧本 千種			
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次 前期	専門科目	講義	選択	幼稚園教諭二種免許状科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 小学校教員としての実務経験を活かして、教育に関する社会的事項、学校と地域との連携、学校安全などについて具体的に教授する。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
現代の学校教育に関する社会的事項について、基礎的な知識を身につけるとともに、それらに関連する課題を理解する。なお、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付ける。					現代の学校教育 学校と地域 学校安全
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6. 7.	
A 知識・理解力		教育の関する社会的事項、学校と地域との連携、学校安全への対応について理解する。			
C 論理的思考力		現代の学校教育に関する社会的事項等を論理的に分析・考察し、表現する。			
H コミュニケーション力		テーマに対する自分の考えをグループ内や全体に伝え表現するとともに他者の考えを理解し、自分の考えやあり方を明確にする。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト:	%	レポート:	70 %	発表:	%
				実技試験:	%
				その他:	30 %
特記事項: ほぼ毎回授業時に、その日の学びについてのレポートを課す。そのレポートを提出後に評価を行う。上記の「その他:30%」の部分では、授業での取組・参加姿勢・態度を評価する。					
アクティブラーニング要素:					
課題解決型学習 <u>ディスカッション</u> ・ <u>ディベート</u> ・ <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: ほぼ毎回ミニレポートを課すとともに第8回でまとめのレポートを課す。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートは評価終了後返却し、その後の学び方の改善やさらに学びを深めるために活かすよう指導する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①学校巡る近年の様々な状況の変化について			【予習】実習での学びを振り返る。 【復習】授業の学びをもとレポート作成	【予習】130分 【復習】130分	
②子供の生活の変化を踏まえた指導上の課題について			【予習】前時の復習 【復習】授業の学びをもとレポート作成	【予習】130分 【復習】130分	
③近年の教育政策の動向について			【予習】前時の復習 【復習】授業の学びをもとレポート作成	【予習】130分 【復習】130分	
④諸外国の教育事情や教育改革の動向について			【予習】前時の復習 【復習】授業の学びをもとレポート作成	【予習】130分 【復習】130分	
⑤地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法について			【予習】前時の復習 【復習】授業の学びをもとレポート作成	【予習】130分 【復習】130分	
⑥地域との連携を基とする開かれた学校づくり・園づくりについて			【予習】前時の復習 【復習】授業の学びをもとレポート作成	【予習】130分 【復習】130分	
⑦学校の管理下で起こる事件・事故と危機管理・事故対応、学校安全の必要性			【予習】前時の復習 【復習】授業の学びをもとレポート作成	【予習】130分 【復習】130分	
⑧生活安全・交通安全・災害安全等の課題と具体的な取り組みについて			【予習】前時の復習	【予習】260分	
使用テキスト: 使用しない。			その他参考文献など: 「社会を結び直す—教育・仕事・家庭の連携へ(岩波ブックレット)」本田由紀 岩波書店 「子どもの「命」の守り方—変える! 事故予防と保護者・園内コミュニケーション」掛札逸美 エイデル研究所		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ■自分自身が幼稚園・保育所から高校まで受けてきた教育を振り返りつつ、現代社会での教育・幼児教育・保育などに関心を持って、主体的に授業に参加してほしい。■随時資料を配布し、資料をもとにレポートを課す。ファイルに綴り、毎回授業時に持参すること。					